

# 知事漏えい指示可能性

兵庫・第三者委 元局長私的情報

元総務部長に

兵庫県の斎藤元彦知事らの疑惑を告発した元県西播磨県民局長（故人）の私的情報について、県の第三者委員会は27日、元県総務部長の井ノ本知明氏（57）が県議3人に漏えいしたと認める調査結果を明らかにした。「知事と片山安孝元副知事の指示で行われた可能性が高い」と判断した。

（社会面に関連記事）

県は職務上知り得た秘密

を漏らしたとして、27日付で井ノ本氏を停職3カ月の懲戒処分とした。斎藤氏はこの日、報道陣に「漏えいの指示はしていない」と話した。第三者委の調査に対しても関与を否定していた。第三者委の報告書によると、私的情報は2024年3月、元局長の公用パソコンに保存されていることが判明。翌4月、総務部長に就任した井ノ本氏は私的情

報が印刷されたファイルを受け取っていた。

井ノ本氏は4月中旬以降、県議会の控室などを訪問。県議3人に私的情報のデータを印刷した資料を見せたり、口頭で伝えたりして、秘密を漏えいした。

井ノ本氏は当初関与を否定したが、後に「漏えいは上司の指示だった」とする弁明書を提出。私的情報について斎藤氏に説明した場

で「そのような文書があることを議員に共有しといった」とする趣旨で指示を受けたと説明していた。

同席した当時の県幹部は井ノ本氏と同様の説明をしたほか、片山氏も「部下から知事の指示があったと聞いたので、井ノ本氏が議会に根回しするよう伝えた」と証言。これらを踏まえ、第三者委は知事らが指示した可能性が高いとした。

井ノ本氏は24年8月に総務部付に異動。代理人を通じて「業務行為が漏えいと評価され、誠に残念。（処分の）審査請求の申し立てを行い、正当性を主張したい」とするコメントを公表した。【稲生陽、山田麻未】